

た か だ こ ら む

国際シンポジウム ISFGMs2018 開催

<15TH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON FUNCTIONALLY GRADED MATERIALS>

- Structural Sector Approaches for New Functionalities and Durability -

2011年に傾斜機能材料に関する国内シンポジウム FGM-2011 が北九州国際会議場で開催された際、小生は実行委員長を拝命いたしました。それから7年後の2018年に同じ北九州国際会議場で、第15回傾斜機能材料に関する国際シンポジウム ISFGMs2018 が8月5日（日）～8日（水）の4日間にわたって開催され、小生は現地実行委員長を拝命いたしました。本国際シンポジウムは、2年ごとに世界各国で開催されており、今回で15回目になります。

オープニングセレモニーでは、傾斜機能材料研究会 川崎亮会長の挨拶で開会し、厳かな雰囲気の中、九州工業大学 尾家祐二学長から祝辞、そして北九州市 北橋健治市長から歓迎の挨拶が述べられました。

参加者数は158名、参加国は11か国（日、台、中、米、独、ロ、英、仏、韓、フィンランド、チュニジア）で、Modeling and Simulation (I, II), Multi-dimensional Printing (I, II), Spark Plasma Sintering for Industrialization (I, II), Thin Films and Coatings, Thermoelectric Materials (I, II), Surface and Interface, Centrifugal Processing, Biological and Optical Functions (I, II), Multifunctions, Structural Analysis and Design (I, II), Processing, Environmental Coatings and Evaluation, Manufacturing の各セッションで合計76件の学術講演（基調講演：6件、招待講演：23件を含む）および47件のポスター発表が5会場に分かれて盛大に行われました。また、サブホワイエでは企業展示会も開催されました。九州工業大学からも4件の発表があり、小生並びに小生が研究指導している院生もオーラル（口頭）発表し、当社の技術もPRしました。最終日には、テクニカルバスツアーも開催され、多くの国々の研究者と交流を深めることができ、大変有意義な国際シンポジウムでした。

中野 光一（九州工業大学出向中）



「旧松本邸」前での集合写真